

国語科の学習方法

1. 分野別の勉強方法について

(1) 漢字・語句

- ・漢字は一点一画を正確に書く習慣をつけ、繰り返し書いて覚える。
- ・四字熟語・対義語・類義語・同音異義語・同訓異字
・慣用句・ことわざは、意味を理解して覚える。
- ・行書は書写の教科書の中から、主な部首のくずし方を中心に覚える。硬筆で実際に書いてみる。
- ・新聞や本を読み、少し難しいと感じる文章に触れる。分からない言葉に出会ったら、国語辞典や漢和辞典で調べる習慣を身につける。

(2) 文章問題

- ・文学的文章は登場人物の心情を問う問題が中心である。情景描写・場面の変化・会話などから登場人物の心の動きを読み取っていく。
- ・説明的文章は段落ごとの要点を的確にまとめる読み方が必要である。段落から全体に読み進め、主題を見つける。キーワード（繰り返し出てくる言葉）や接続語、指示語に注目するとよい。説明文の問題の答えは必ず文章の中にあり、問題の条件に従って書き表すことが求められる。
- ・俳句・短歌・詩は、形式・表現技法・句切れ・季語などを中心に学習する。文中で使われている表現技法を、的確に見つけられるようにする。

(3) 古典

- ・まず音読をする。声に出して読むと、古文の意味が分かりやすくなる。
- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直せるようにする。
- ・係り結びや対句表現など、古文によく出る表現技法を必ずチェックする。
- ・助詞や主語の省略が多いので、自分で補いながら意味をとらえる。
- ・作品名・時代・作者名はまとめて漢字で覚える。

(4) 課題作文

- ・原稿用紙の使い方を正しく理解し、それに従って書けるようにする。
- ・文体(敬体・常体)の統一を理解して書き進め、話し言葉にならないように注意する。
- ・段落内容の条件を考え、問われていることに忠実に書いていく。
- ・常に時間を意識し、時間内に指定の行数まで書ききれるように練習を重ねる。

(5) 文法

- ・ 文法用語を整理して理解し，基本的な決まりを系統的に覚える。品詞名・用言の活用・助動詞の意味などは暗記する。
- ・ 練習問題を多く解き，間違いやすい問題に慣れる。言葉の関係性や意味を図示して表すと理解しやすい。

2. 言語能力を高める生活習慣について

- ・ 国語の「読む・書く・話す・聞く」の力は，すべての教科に必要な言語力である。言葉の力は日常の会話や読書，一人で考える時など，日々の生活のさまざまな場面で高めることができる。相手にわかりやすく伝えることを意識したり，相手の話をよく聞いて言いたいことが何かを考えたり，文学作品を読んで想像をふくらませたりすることで，読解力や表現力・聞く力・話す力や思考力がつく。